



Original Motion Picture

MUTO KIICHI OFFICE PRESENTS AN OTANI KENTARO Film

あなたには、ほころびを縫ってくれる夫がいますか。
マリ

avec mon mari
アベックモンマリ

あーおもしろかったーッ!! それぞれのキャラクターに
ぴったりのいい台詞を出演者全員がのびのびと自由に
演じていてとても魅力的でした。

役所広司 (俳優)

大杉漣サイコー! この子供っぽい
中年オヤジが映画に広がり持たせ、
映画を観客に開放する。ヘタすりや
目も当てられない題材が、やわらか
い価値観で心地いい。

塩田時敏 (映画評論家)

他人のPrivacyをひょっこり
盗み撮りしてしまった映画。
私まで他人の私生活を覗き
見しているような気分になりました。

はな (モデル)

いやあ、新しいね。センスがいいね。感覚が新鮮
だね。「アベックモンマリ」。私はこの作品に心から
拍手を送りたい。

井上一馬 (エッセイスト)

まず、最初にウディ・アレンの「夫たち、妻たち」という映画
を思い浮かべた。こういうナチュラルな芝居の映画が俺
は好きだ。

夫婦たちというテーマはちょっと難しい話になりがちだけど、
この映画は実にチャーミングで、面白く観させてもらいました。

DIAMOND★YUKAI (ミュージシャン) & 三浦理恵子 (女優)

嫌だ嫌だと言ってもやはり凸(デコ)と凹(ボコ)は2つで1つのことです。
そんな細かい感情の凹(デコボコ)さけげんは、まるでドキュメンタリー
を見ている様でした。

鶴田真由 (女優)

“優しさ”という強さもある。男として男の強さ、
大きさたるものは何かということをこの映画
から学ばせてもらいました。

岡田義徳 (俳優)

avec mon mari アベックモンマリ

小林宏史／板谷由夏／辻香緒里 and 大杉漣

プロデューサー:武藤起一

撮影:鈴木一博 照明:安部 力 録音:小林徹哉 助監督:露木栄司
アソシエイト・プロデューサー:竹平時夫 プロデューサー補:貝山亜木子

音楽:Reinaldo Pineda 製作・配給:武藤起一事務所

監督・脚本:大谷健太郎

相手を想いやる、ささやかな優しい心
こそ今の世の中が一番必要としている
ものだ。ラストシーンで、これが美しいん
だな、と僕は何度もうなずいた。

ハービー・山口 (写真家)

この映画の中の男女
は平気で実在するは
ずだけど、こういう映画
は今まで存在しなかつ
た。早くオータニ映画
が「あたりまえの常識」
になってほしい。

枠野浩一 (歌人)

何だか迂闊にも、くすぐったいよう
なシアワセがほしくなってしまった…。
—心地よい後味がココロに潤いを

与えてくれる…。コレ、実は、世紀末世代
への人間謡歌なんじゃないか!?

本木雅弘 (俳優)

「アベモン」ホームページ <http://www.ncws.co.jp>

ムチャクチャおもしろいんですけど、こう
いうの映画でやんないで下さい。舞台
でやる事がなくなっちゃうから(笑)。

きだつよし (劇団TEAM発砲・B・ZIN主宰)

2月下旬ロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500絶賛発売中! (当日一般¥1,800)

★劇場窓口でお買い求めの方には、もれなく特製ポストカードをプレゼント。

★夫婦割引 当日、夫婦でいらした方は¥3,200(2人)にてご入場になれます。



シネ・アミューズは
新しい作家を
応援していきます。

CINE AMUSE
EAST & WEST

渋谷・文化村通り 東急本店前 フォンティスビル4F
Tel.03-3496-2888